

<b>令和5年度第1回大野城市上下水道事業運営審議会 会議録</b>	
日 時	令和5年11月1日(水) 10:00~11:30
開催場所	市役所4階 全員協議会室
出席者	審議会委員：広城会長、河波副会長、小原委員、斧田委員、高原委員、田口委員、釘崎委員 以上7名 上下水道局：松竹上下水道局長、松岡企業総務課長、今田料金施設課長、他8名(係長、担当) 以上11名
欠席者	なし
傍聴者	なし
議 事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大野城市水道事業会計 令和4年度決算及び令和5年度予算について</li> <li>・大野城市下水道事業会計 令和4年度決算及び令和5年度予算について</li> <li>・大野城市上下水道ビジョン(一部改訂)・大野城市上下水道事業第4次中期経営計画(案)について</li> </ul>
配布資料	<p>次第</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【資料①】 令和4年度大野城市上下水道事業会計決算の概要</li> <li>【資料②】 令和5年度大野城市上下水道事業会計予算の概要</li> <li>【資料③】 上下水道事業の推移</li> <li>【資料④】 令和4年度水道事業決算書</li> <li>【資料⑤】 令和4年度下水道事業決算書</li> <li>【資料⑥】 令和5年度水道事業予算書</li> <li>【資料⑦】 令和5年度下水道事業予算書</li> <li>【資料⑧】 大野城市上下水道ビジョン(一部改訂)・大野城市上下水道事業第4次中期経営計画【概要版】</li> <li>【資料⑨】 大野城市上下水道ビジョン(一部改訂)・大野城市上下水道事業第4次中期経営計画【素案】</li> </ul>

議

事

◇令和5年度第1回大野城市上下水道事業運営審議会

1. 開会あいさつ

2. 市長諮問

【議事】

3. 大野城市水道事業会計 令和4年度決算及び令和5年度予算について  
(資料①～④、⑥)

令和4年度決算、令和5年度予算、事業の推移の順番で説明。

○質疑

(委員) 資料②の数値と資料③のR5の数値が一致しないのはなぜか。

(市) 収益的収支については、資料②は税込みの値、資料③は税抜きの値となっています。

(委員) 予算と決算とを比較したいため、税込み・税抜きについては統一してほしい。

(市) 次回の資料作成時にはご意見を踏まえた資料にしたいと思います。

(委員) 企業債の新たな借り入れはここ数年ないが、予算としてあげる必要があるのか。

(市) 令和元年度から令和4年度までは約2億の企業債の予算を計上していましたが、当該年度中に財政収支の見通しなどを精査し、借り入れを行いませんでした。令和5年度以降については、建設改良費が増加しているため、借り入れを行う見込みです。

(委員) 約2億の予算がなくなるというのは、大きなズレのように感じられるのだが。

(市) 連続立体交差事業により利便性がよくなっていることもあり、予算より加入金収入が多くなっています。しかし、加入金などの収入を当初予算から高く見込むことはできないため、実情を見ながら実際の借入額を精査している状況です。

4. 大野城市下水道事業会計 令和4年度決算及び令和5年度予算について  
(資料①～③、⑤、⑦)

令和4年度決算、令和5年度予算、事業の推移の順番で説明。

○質疑

(委員) 一般会計繰入金がなく、黒字というのが正しい経営状況なのか。

(市) 雨水に要する経費については、公費負担の原則となっているため、一般会計から受け入れています。汚水に要する経費については、総務省の繰出基準に沿って受け入れています。また、協定に基づいた受け入れも行っています。これらすべて、基準や協定に基づくもの

であるため、受け入れるべきものと認識しています。

(委員) 基本的には、一般会計繰入金の大部分は雨水に要する経費という理解でよいか。

(市) 約半分が雨水に関するものです。

(委員) 基準などにに基づき、受け入れるべきものと、それに追加して受け入れるものも混ざっているのか。

(市) 追加して受け入れる上乘せのようなものや、赤字補てんのようなものは含んでいません。

## 5. 大野城市上下水道ビジョン（一部改訂）・大野城市上下水道事業第4次中期経営計画（案）について

### (資料⑧、⑨)

主要事業をピックアップして、担当係長が説明。

(委員) 国が昨年策定したデジタル田園都市国家構想基本方針について。水道・下水道について、プラットフォームに関する記載がある。この中期経営計画に影響のあるものなのか。どういったものか教えていただきたい。

(市) 厚生労働省から、共通プラットフォームの推進という話が出ています。料金徴収システム、財産管理システム、水道台帳などの施設管理システムなどを独自調達独自フォーマットで各々の事業体が導入しています。広域化にあたって、これらの情報を共有する際にフォーマット等が違うことで情報共有の足かせになるなどの問題が出ています。それらの解消に向けて、独自のシステムを調達するのではなく、共通のフォーマットで導入すれば、データの共有化が図れるといったことを国が狙って進めているところです。大野城市については、まだ広域化の話は出ていないので、現時点での積極的な参加は考えていません。

(委員) AIなどを活用した漏水の把握などは進んでいるのか。

(市) AIが漏水を診断するシステムはすでにあります。しかし、本市は有収率が高いことから、高額なAIシステムの導入は考えていません。今後、普及してコストが下がれば、導入についても検討していきます。

(委員) 主要施策⑱ICTの活用によるサービスの向上について。

目標が自動化した業務やICT活用サービスの導入件数となっているが、現状値3件と目標値9件とは具体的に何か。

(市) 現状値の3件は、1つ目がAI-OCRを活用した漏水時の使用料金減

免申請書の申請内容の電子データ化です。2つ目は、RPAを活用した使用料金二重払いによる還付対象者抽出の自動化です。3つ目は、インターネットを使った転入・転出などによる水道の使用開始や中止の手続きです。目標値の9件については、整理して次回審議会にてお示しします。

(委員) 主要施策⑩窓口業務などの民間委託範囲拡大について。

委託範囲を拡大して収納率を上げるという目標はどうか。委託業務の件数のほうが良いのではないか。

(市) いただいたご意見を踏まえ、再度検討します。

#### **【その他】**

##### **6. その他**

事務連絡について説明。

##### **7. 閉 会**

松竹上下水道局長より閉会のあいさつ。

以 上